
【 研究所のご案内 】

<http://oisr.org/about/index.html>

【 大原デジタルライブラリー(電子図書館・資料館) 】

<http://oisr.org/dglb/index.html>

★社会労働関係文献データベース★

<http://oisr.org/kensaku/ronbun.html>

<http://133.25.160.82/kensaku/ronbun-ac.html>

<http://oisr.org/kensaku/washo.html>

<http://oisr.org/kensaku/yosho.html>

○データは、毎月更新しています。(最新: 2000.7.4)

★大原雑誌』書評欄★

(『大原社会問題研究所雑誌』書評欄オンライン版。執筆者の了解が得られたものから順次掲載、現在約240本公開中)

<http://oisr.org/shohyo/index.html>

(1)梅田 俊英氏の書評11本をオンライン書評欄に追加 (00.7.4)

- ・和田春樹著『歴史としての野坂参三』
- ・伊藤晃著『転向と天皇制——日本共産主義運動の1930年代』
- ・筒井清忠著『日本型「教養」の運命——歴史社会学的考察』
- ・樋口喜徳著『〈進め社〉の時代——大正デモクラシーの明暗』
- ・石見尚著『福本和夫——『日本ルネッサンス史論』をめぐる思想と人間』
- ・多田茂治著『大正アナキストの夢——渡辺政太郎とその時代』
- ・鈴木裕子編『女性——反逆と革命と抵抗と』
- ・大沢正道著『土民の思想——大衆の中のアナキズム』
- ・前川雅夫編『炭坑誌——長崎県石炭史年表』
- ・岡本宏著『日本社会主義史研究』
- ・渡辺治著『現代日本の支配構造分析——基軸と周辺』

(2)横関至氏の書評10本を『大原雑誌』書評欄に掲載。(00.6.19)

- ・西田美昭著『近代日本農民運動史研究』
- ・増田弘著『公職追放——三大政治パージの研究』
- ・室田保夫著『キリスト教社会福祉思想史の研究——「一国の良心」に生きた人々』
- ・安田浩著『大正デモクラシー史論——大衆民主主義体制への転形と限界』
- ・小宮昌平・斎藤美留編著『回想・斎藤初太郎——生いたち・労働運動・農民運動』

- ・庄司俊作著『近代日本農村社会の展開——国家と農村』
- ・西田美昭・森武麿・栗原るみ編著『栗原百寿農業理論の射程』
- ・長原豊著『天皇制国家と農民——合意形成の組織論』
- ・浜野清著『栃木県農民運動史』
- ・山本繁著『大正デモクラシーと香川の農民運動』

 ★ 研究論文 E-TEXTリンク集 ★

(WWW上に存在する社会・労働関係文献のE-textへのリンク集、およびE-textリンク集へのリンク。)

●労働編

<http://oisr.org/sp/etextlinks-l.html>

●社会編

<http://oisr.org/sp/etextlinks-s.html>

●ジェンダー編

<http://oisr.org/sp/etextlinks-g.html>

(1)辻 大介氏の論文13本をE-textリンク集社会編に追加。(00.6.22)

- ・「若者語と対人関係」
- ・「『とか』弁のコミュニケーション心理」
- ・「現代美術の語用論試論」
- ・「言語行為としての広告」
- ・「アイロニーのコミュニケーション論」
- ・「『マスメディア』としてのインターネット」
- ・「若者におけるコミュニケーション様式変化」
- ・「隠喩解釈の認知過程とコミュニケーション」
- ・「『とか』『ってゆうか』のコミュニケーションと友人関係」
- ・「若者の人間関係は希薄化したのか」
- ・「デジタルメディア時代の学校」
- ・「教育メディアのデジタル化」
- ・「ケータイと『とか』弁 ～今どきの若者のコミュニケーションスタイル」

(2)E-textリンク集社会編に松下博宣の論文2本を追加(00.6.17)

- ・「今こそ求められる戦略的政策提言能力」
- ・「今、なぜ看護経営学なのか——看護の現場に求められる戦略アプローチ」

(3)E-textリンク集労働編に次の論文を追加(00.6.17)

- ・「80年代後半以降の労使関係文献サーベイ —『日本的労使関係』に肯定的立場をとる文献を中心として」鈴木 玲
- ・「大競争時代における人事賃金制度の新パラダイム」竹内 一夫
- ・「アメリカにおける賃金制度の現状と新動向」竹内 一夫
- ・「在米日系企業の人事管理—事例研究を中心として—」竹内 一夫
- ・「大競争時代における中小企業の人事管理」竹内 一夫
- ・「人材の育成と活用」竹内 一夫
- ・「労働問題」武田晴人
- ・「第一次大戦期の労資関係」武田晴人
- ・「全国坑夫組合の組織と活動(3)」二村一夫
- ・「日本労働組合評議会史関係文献目録および解説」二村一夫
- ・「1880年代における鉱山労働者数——明治前期産業統計の吟味(1)」二村一夫
- ・「1880年代における鉱山労働者数——明治前期産業統計の吟味(2)」二村一夫
- ・「1880年代における鉱山労働者数——明治前期産業統計の吟味(3)」二村一夫
- ・「1880年代における鉱山労働者数——明治前期産業統計の吟味(4)」二村一夫
- ・「日本的生産方式の競争力と国際移転可能性(抄録)」林 正樹
- ・「日本的経営の経営学的研究——方法論を中心に(抄録)」林 正樹

- ・「第1章: 崩れゆく会社主義システム」松下博宣
- ・「第2章: 会社主義人事に隠蔽されてきたミスマッチの三角形」松下博宣
- ・「第3章: 日本の選択—長期継続雇用か年功賃金か—」松下博宣
- ・「第4章: 錯綜する「ジョブ」と「職務」の幻想」松下博宣
- ・「第5章: 日本の職務と職能資格制度のコスト」松下博宣
- ・「第6章: 成果と自己責任原則を人事・組織に摺り込め」松下博宣
- ・「第7章: アカントビリティ・マネジメントのすすめ」松下博宣
- ・「第8章: ジョブデザイン新時代」松下博宣
- ・「第9章: SOHOの時代がやってきた」松下博宣
- ・「第10章: ネットワーク時代の人事、雇用論」松下博宣

【社会労働関係リンク集】

<http://oisr.org/links/toc03.html>

(リンク集全般)

(1)社会問題・社会運動関連サイト(日本国内)にNPOセクションを追加。(00.6.28)

<http://oisr.org/links/social.html#npo>

NPO(非営利組織)は組織類型に関する概念であり、その活動領域・分野は多様である。ここでは、NPOそのものの振興、促進、支援、あるいは交流に関わる活動をもっぱらとする組織のサイトに限定して採録する。アメリカではこの種のNPOを「中間(媒介)NPO」と呼んでいる。

(2)特集・労働相談を掲載(00.6.17)

<http://oisr.org/links/tokushu-sodan.html>

近年、リストラ、セクハラ、職場でのいじめ、メンタルヘルス、過労死・過労自殺などの問題が顕在化しています。これらの問題は、労働者個人が影響を受け、労働者自身に対応を迫られる場合が多いといえます。すなわち、労働問題の「個別化」が進み、従来の集団的労使関係のみでは問題の対応ができなくなっています。「労働相談」は、個別化した労使紛争を対処する方法の1つで、インターネット上でも相談の案内あるいは受付をするWEBサイトが増えてきています。労働相談のコーナーを持っているサイトは数多くありますが、特集ではそのなかで代表的なものを掲載します。

(追加したサイトとその解説)

(1)日教組埼玉・入間北教職員組合(00.7.7)

<http://www.cnet-sb.ne.jp/jtu.kita/>

埼玉県坂戸市・鶴ヶ島市・毛呂山町・越生町の教職員を組織対象とする。委員長のメッセージ、機関紙「スクラム」のバックナンバー、「働く者の権利ノート」、「教育委員会交渉合意・確認事項」など。「インターネット教育オンブズマン」のコーナーもある。丸木位里・俊氏のデザインの組合旗も見ることができる。

(2)通信産業労働組合(00.7.7)

<http://www.tcwu.org/>

81年に結成、全労連加盟。組織対象は、NTTやNTTグループなど電気通信産業に働く労働者。組合紹介、組合参加の呼びかけ、春闘アンケートの書き込み用フォームなど。

(3)自治労山形県本部(00.7.7)

<http://www3.macbase.or.jp/~jichiro/>

委員長あいさつ・活動内容紹介、歴史、加盟単組のリスト、規約、運動方針、機関紙のバックナンバーなど。山形地方自治研究センター、地方自治研究全国集会のコーナーもある。

(4)電機連合岐阜地方協議会(00.7.1)

http://www.takenet.or.jp/~d_gifu/

政策提言、役員体制、加盟組合紹介、「事務局長のひとりごと」など。

(5)NPOWEB(00.6.28追加)

<http://c-s.vcom.or.jp/index.html>

C's(シーズ=市民活動を支える制度をつくる会)のホームページ。'00年5月19日より、NPOWEBとしてリニューアルした。「ダイレクトジャンプ機能」「検索エンジン機能」「サイトマップ」などの工夫を取り入れるなど、使いやすいサイトのお手本で

ある。

(6)日本NPOセンター(00.6.28追加)

<http://www.jca.apc.org/jnpoc/>

1996年11月22日設立。民間非営利セクターに関するインフラストラクチャー・オーガニゼーション(基盤的組織)として、NPOの社会的基盤の強化を図り、市民社会づくりの共同責任者としての企業や行政との新しいパートナーシップの確立をめざしている。「各地の支援センター」が、設立主体毎に(民間、社会福祉協議会、自治体)分類掲載されている。

(7)日本NPO学会(00.6.28追加)

<http://www.osipp.osaka-u.ac.jp/janpora/j/newslet/index.html>

民間非営利セクターの活動に関心を持つ研究者、実務家、政策関係者などによって1998年8月に設立された学会。「概要」、「入会案内」、「総会・年次大会」、「セミナー」、「出版・刊行物」、「リンク集」などがある。

(8)NPOサポートセンター(00.6.28追加)

<http://www.jca.apc.org/~nposc/index.html>

第一書林・総研センターを前身とするNPO支援組織のサイト。NPOによる雇用創出や人材開発に取り組んでいる。『月刊NPO情報』などを発行。

(9)スマートバレー・ジャパンNPOリンク集(00.6.28追加)

<http://www.bekkoame.ne.jp/~kaihou/index.html>

スマートバレー・ジャパンの有志によるNPOリンク集。膨大な数のNPO組織が、「組織名別」「都道府県別」「活動分類別(「保健・医療・福祉」「まちづくり」「子どもの健全育成」「NPO支援」など13カテゴリ)」に掲載されているのが凄い。メールマガジン「NPO Link Letter」も発行している。現在の所、NPO関連リンク集としては最強か?

(10)日本ビクター労働組合(00.6.27追加)

<http://biz.nifty.ne.jp/jvc-union/>

愛称はAyumi@web。JAMIに加盟。労働組合の意義や組合用語の解説、組織図、写真入の組合史、運動方針、支部の紹介など。

(11)秀明大学解雇事件のページ(00.6.20追加)

<http://members.aol.com/shiensurukai/>

(12)研究会「職場の人権」(00.6.20追加)

<http://homepage2.nifty.com/jinken/>

「従業員の処遇が、その労働者個人の人権抑圧をもたらす」職場の状況に問題意識を持つ研究者、弁護士、労働・市民運動活動家などによって結成された研究会。呼びかけ文、オンラインで可能な入会申し込み、月例研究会の案内、会報『職場と人権』の目次など。

(13)帝京民主化対策会議のホームページ(00.6.19追加)

<http://homepage1.nifty.com/teikyo92/index.html>

帝京グループの中学・高校における労使関係・労務管理の実態、教職員組合の闘争について。全国の私学争議団の紹介もある。

(14)<削除>

(15)岡山県高教組(00.6.14追加)

<http://www.urban.ne.jp/home/okakokyo/kokyoso.htm>

分野別取り組み、分会・専門部(障害児学校部のページは充実)の紹介、教研活動、組合に関するQ&Aなど。

(16)民放労連九州地連(00.6.14追加)

<http://www1.newweb.ne.jp/wb/minpo-q/>

春闘学習会などの活動報告、役員紹介、スケジュールなど。

(17)ゼンセンJHU(ジャルホテルズユニオン)(00.6.14追加)

<http://www.geocities.co.jp/WallStreet/3115/index1.html>

99年11月に結成、「経営に対するチェック機能」役割を持つことを目指す。結成趣意書、組合に関するQ&A、ニュースなど。

(18)部落解放同盟東京都連合会(00.6.13追加)

<http://www.asahi-net.or.jp/~mg5s-hsgw/>

2000年5月22日開設。「東京都の被差別部落と私たちの運動」、「解放書店」(出版物案内)、集会などの運動情報などが掲載されている。解放同盟系の府県組織や研究機関へのリンク集あり。

(URL・名称を変更したサイト、コメントを追加・更新したサイト)

(1)東京出版合同労組ユニティ分会(00.7.11URL変更)

(2)神奈川県職員労働組合(自治労連)(00.7.11URL変更)

(3)連合静岡(00.7.11URL変更・コメント更新)

(4)全建総連(00.7.1URL変更)

(5)名古屋大学職員組合農学部支部(00.7.11コメント更新)

(6)日本労働社会学会(00.7.1URL変更)

(7)自治労北海道学校事務労働組合(00.7.1URL変更)

(8)日本労働社会学会(00.7.1URL変更)

(9)損保労連(損害保険労働組合連合会)(00.7.1URL変更)

(10)自治労学校事務協議会(00.7.1URL変更)

(11)全建総連東京都連(00.7.1URL変更)

(12)岡谷鋼機・藤沢真砂子氏(男女賃金差別裁判原告)(00.7.1URL変更)

(13)住友金属・鈴木明男氏(出向問題)(00.7.1URL変更)

(14)風と森の広場―大企業のなかの民主主義と人権の前進のために(00.7.1URL変更)

(15)税金とウエスティのページ(00.6.26名称変更)

(16)東京私教連(00.6.24URL変更)

(17)長野県農業団体労働組合連合(長野県農団労)(00.6.21コメント更新)

(18)伊勢丹労働組合(00.6.21コメント更新)

(19)国労闘争団 とともにネット(00.6.20コメント更新)

【 スタッフ個人サイト 】

★ スタッフ個人サイトの近況 ★

<http://oisr.org/links/toc04.html>

○個人サイトの最新情報についてはトップページをご参照ください○

<http://oisr.org>

●五十嵐仁ホームページ

<http://oisr.org/iga/home.htm>

「アメリカ留学のための個人的なリンク集」をアップ。(7/7)「徹底検証 ミレニウム総選挙:『民意』は何を選択したか 第42回総選挙についての総括的論評」(その1)(その2)を掲載。(7/4、7/11)トップページ・コメントの最終追加は7月11日。

●二村一夫著作集

<http://oisr.org/nk/index.html>

★好評連載中の『高野房太郎とその時代』は第13回「長崎屋炎上」と第14回「越境入学ー江東学校へ」を掲載。また、既掲載分についてもいくつか画像データを追加しました。いよいよ東京時代を終え、次回からは舞台は横浜に移ります。

★この1カ月間につぎの2つのファイルを新規掲載しました。「戦間期の労働運動ー1917~1940」「資料紹介 永岡鶴蔵自伝『坑夫の生涯』」

●こんにちは、ようこそ早川です。

<http://oisr.org/hayakawa/index.html>

ニュースに「国労臨時大会紛糾、採決できず休会へ」を追加。また、同問題についての「一口知識」を追加。(7/2)「休憩コーナー」の内容も更新(6/27)

OISRコラム「早川 HP・個人サイト公開2ヵ月」も参照ください。

【 研究所刊行物 】

<http://oisr.org/pub/toc05.html>

【 英語版 】

<http://oisr.org/english/toc06.html>

Links to Labor and Social Websites in Japanにつぎのサイトを追加し、あるいはURLを訂正しました。

<http://oisr.org/links/elinks.html>

- ・Rengo Shizuoka(00.7.11追加)
- ・EAST JAPAN RAILWAY WORKERS' UNION(00.7.11追加)

【社会問題研究リソース】

社会問題研究に関するさまざまな基本文献やインターネット上のリソースを提供する研究案内です。

<http://oisr.org/sp/index.html>

【レッスン】

OISR.ORG作成の舞台裏をお見せします。社会科学系サイトの水準向上のために、ともに学び、ともに悩みます。OISR-Watch 連載のコラムもここで順番に読めるようにしました。

<http://oisr.org/lesson/index.html>

【OISR-WATCH】

OISR-WATCHの 最新号・バックナンバーと、掲載コラムを著者別に見ることができます。

<http://oisr.org/watch/index.html>

- ・OISR-WATCHのページに18号とコラムを掲載。(00. 6. 13)

【OISR.ORG全文検索】

<http://oisr.org/cgi-bin/namazu.cgi>

なお、コラムのバックナンバーは、
<http://oisr.org/watch/index.html>
で見ることができます。

早川 HP・個人サイト公開2ヵ月

早川 征一郎

今年の5月に、早川ホームページ・個人サイトを公開してから約2ヵ月になった。トップページのアクセス数は、ほぼ1000件に近い。一日平均、15~16件といったところである。

公開後、半月くらいで、Yahoo Japan に登録された。これも、oisr.orgや他の先行個人サイトが優れているからであろう。いち早く、見つけられ、登録された。そのほか、私の個人サイトが、「公務関連情報室」を開設し、「ニュース」と「一口知識」および「公務関連文献情報」「公務関連資料情報」を提供しているからであろう。組合では、国公労連が、早速リンクを張ってくれた。

私の個人サイトの特徴は、その「公務関連情報室」の設置にある。私自身、長年、公的セクターの労働問題を研究してきた。社会政策学会の中では、孤軍奮闘(前者はいいが、後者は本当?)に近かった。それはともかく、研究は私的な興味から行ってきたのではない。研究の結果は、できるだけ情報公開をする義務がある。それが、本であったり、論文であったり、ときに講演であったりするが、いまや電子的手段を使った公開も必要になっている。「公務関連情報室」を設けた所以も、そこにある。

いまは、とにかく情報量をできるだけ増やすことが重要であると考えている。1年後くらいに、どの程度の情報量が蓄積されるであろうか。その量しだいで、コンテンツの改定も必要になるであろう。どうやら、「公務関連情報室」には、私ならではのユニークさがありそうだと内心、考えているが、いかがでしょうか。

いずれ、また続編の原稿を書きましょう。

(はやかわ せいいちろう・専任研究員)

ウェブ・スタイリストの生活と意見[18]
オンライン書店の意外な可能性

野村一夫

日本における本の流通は複雑です。素人にはわからない世界があります。よく引用されるわりにほとんど店頭には並ばない本もあれば、ビジネス書のように店頭にはやたら並んでいるわりに立ち読みしている客を見かけないがらんとしているジャンルもあります。つまりすべての本が対等に扱われているわけではないのです。

それを解決しようとするのがメガショップとオンライン書店です。大阪梅田のジュンク堂のようなメガショップにはやはり圧倒されます。京都にできた店もすごいと聞いています。図書館のようなコンセプトで店づくりがされているようですが、こういうところは頼りになりますね。仕事の無い日に半日こういうところで時間をかけて本を買うというのが至福の時であります。

他方、お手軽なのがオンライン書店です。メガショップは時間があるときは楽しいのですが、お目当てが見つけれないということがあります。学術系の本は重いですし、注文するのもめんどろです。また、必要なときに現金がないという問題もあります(ん?私だけ?)。

送料も気になりますが、電車賃や時間のことを考えるとたいしたものではないでしょう。まとめ買いすればいいだけです。これはとくに田舎にお住まいの方とか海外在住の方には重宝なものでしょう。

というわけで、私自身は日本の本については紀伊國屋ブックウェブを利用してきました(<https://bookweb.kinokuniya.co.jp/>)。つい先日も原稿執筆のためプロポリスや癒し関連書をしまつた購入したところ。いやはや、いったい何の原稿を書いているのやら。(^^)

私たちににとって便利なのは、そのデータベースです。図書館のOPACはそれなりに便利ですが、その場では内容がわかりません。オンライン書店のデータベースには帯のコピーや目次が掲載されています。これがあるがたい。しかも、特定テーマについての本がすべてでできますから、網羅的に購入するにはとても便利です。

もともとアマゾンコムがそうでしたが、最近の日本のオンライン書店では書評と予約がポイントになっているようです。私もちょっとかかわっているBK1(<http://www.bk1.co.jp>)でもこのふたつを戦略的なポイントにしていました。書評と言っても紹介とかレビューという程度のもんですが、そういうものを積極的にやっつけていこうということです。これはものすごい手間です。でも、そういうことをしないと結局「売れ

るものだけが売れる」ということになってしまうのです。今の学生さんを見てみると実感しますが、自分の眼で本を選ぶということができないし、その気もないという事実があります。しかし、地味な本や、営業の弱い無名出版社の本でもいい本はいっぱいあります。やはりここでもキーワードはナビゲートなんです。

しかし、大学関係者はこういうものを見て生協に注文するのでしょうか。再販制度の手前もあってオンライン書店も値引きができないのです。しかし、再販制度の見直し論も高まっています。おそらくそうなったときがオンライン書店の勝負時だと思います。

(のむら かずお・兼任研究員・社会学)

社会・労働関係リンク集の「注目サイト」: 特集・国労・国鉄闘争関連

鈴木 玲

7月1日の国労臨時大会は、国労組合員不採用問題についてJRが法的責任がないこと認め、「四党合意案」を承認するかどうかが大きな争点になりました。国労臨時大会では、賛否の立場から激しく議論が交わされたましたが、会場の「混乱状態」により休会になりました。このコラムでは、「四党合意案」と臨時大会に関する情報の提供、意見の発信をするWEBサイトをまとめてみました。
(このコラムは社会労働関係リンク集の特集として、WEBサイトにも掲載する予定です。

<http://oisr.org/links/tokushu-kokuro.html>
を参照ください)。

(1) 闘争団、「四党合意案」、国労臨時大会関連

・国労闘争団ともにネット

<http://www2s.biglobe.ne.jp/~tosodan/>

全国の国労闘争団の「発信基地」。「四党合意案」や7.1臨時大会についての闘争団の抗議文・意見書が掲載されている。全国36闘争団のリストと各闘争団の簡単な紹介もある。また、7月1日臨時大会の様子を伝えた写真を見ることができる。

・がんばれ国労闘争団

<http://www.jca.apc.org/ouen/>

国鉄闘争を支援する有志によって2000年7月8日に開始されたWEBサイト。東京清掃労働組合からの「檄」、「当事者に自己決定権を!」(「怒り」上京闘争団ニュースの記事)を掲載している。まだ立ち上げたばかりなので内容は多くないが、今後の内容充実に期待したい。

・「JRに法的責任あり」国労情報

<http://member.nifty.ne.jp/videopress/kokuro.info.html>

ビデオプレスのWEBサイトの一部。7.1臨時大会傍聴記、国労中央委員会の臨時大会休会に関しての声明、臨時大会のレポート・取材の感想、24闘争団の臨時大会中止と「四党合意」撤回を求める意見書、「JRに『法的責任』あり! 国鉄闘争の勝利をめざす6.27緊急決起集会」の呼びかけ文・報告などを掲載。また、国鉄闘争のビデオ「人らしく生きようー国労冬物語」の宣伝ページもある。

・国鉄労働組合共闘会議

<http://plaza9.mbn.or.jp/~kokurouk/>

国鉄労働組合の組合内「学校」(フラクション)のWEBサイト。「四党合意」などに関するフラクションの立場を主張したページの他、7.1臨時大会議事録や臨時大会での家族の訴えなど他のサイトにはない情報を提供している。

(2) ナショナルセンターの立場

・全労連

http://www.ijjnet.or.jp/c-pro/union/aa_j/index_j.html

(3)国労・国鉄闘争関連情報その他

・電気玉葱

<http://www.yk.rim.or.jp/~kuge/index.html>

JR東日本勤務、国労組合員久下格氏のWEBサイト。国鉄闘争関係では、『『最悪の事態』を『新たな闘いへの転回点』にするために ==臨時大会の報告==』、『仲間の皆さんへ』、97年5月以降の闘争の年表(解説付き)などがある。

(4)参考サイト

・労働記事データベース(日本労働研究機構)

http://db.jil.go.jp/jnk01/srcdsp?D_MODE=1

「国労」のキーワードを入れると、『週刊労働ニュース』掲載された「四党合意案」や臨時大会についての記事の本文を読むことができる。

(すずき あきら・専任研究員)



編集後記

□OISR-WATCH19号をお届けします。今回はOISR.ORGのルーチンの更新が中心で、WEBページの内容変更・拡充で特に大きなものではありませんでした。

□WEBサイトの当面の拡充として、『大原社会問題研究所雑誌』創立80周年記念号(2000年1月)から、所蔵図書・資料紹介の掲載を予定しています。

□また、「OISR.ORG全文検索」で、内容が検索できる労働組合・労働関連サイトの数を大幅に増加させる予定です。ご期待ください。

(文責:鈴木玲)

OISR.ORGでは皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。
更新情報ニュースレター“OISR-Watch”(無料)をご希望の方は
こちらにお申し込みください。

E-mail: webmaster@oisr.org

購読を中止するときはこちらにご連絡ください。

法政大学大原社会問題研究所 (<http://oisr.org>)

〒194-0298 東京都町田市相原町4342
TEL 042-783-2307 FAX 042-783-2311

[2000年7月12日開始、担当・鈴木玲]

OISR-Watch

法政大学大原社会問題研究所 (<http://oisr.org>)
